

教科教室型システムを生かした学校づくり

1 教科教室型システムとは

- 国語も社会も数学も英語もすべての教科が専用の教室を持っていて、すべての教科・領域の時間を生徒が移動して学習を進めるシステム



校舎というハード面と、学習スタイルというソフト面から、生徒の自主・自立を育て、確かな学力の向上と豊かな心の育成を図る。

ハード面

校舎の形態
(教科教室型・
ホームベース等)

ソフト面

学習スタイル
(時間毎の移動・
T T・少人数等)

2 教科教室型システムのメリットを最大限に生かし、デメリットをプラスに転じる教育の取組

〈メリット〉

- ・生徒の学習に対する主体性
- ・教科独自の学習環境や雰囲気
- ・多様な指導方法に対応可能な空間

〈デメリット〉

- ・教室移動に要する時間の確保
- ・ホームルーム意識の希薄化
- ・生徒掌握の難しさ

- ☆ 移動してまで学びたくなる授業づくり
- ☆ 専門性を生かした魅力ある環境づくり (掲示物・教材教具の配置)
- ☆ T Tによる指導体制を生かした少人数指導, 習熟の程度に応じた指導課題別学習等の個に応じた指導の充実
- ☆ 本校自作の「南中版テキスト」の活用と, 授業評価を生かした授業づくり
- ☆ 運動会や合唱祭等の学校行事に積極的に取り組みによる, 仲間意識の高揚
- ☆ 一人一人の心に寄り添った積極的な生徒指導 (チーム援助等)
- ☆ 生徒会による年間を通じたあいさつ運動の実践

3 教師が変わる，生徒が変わる



理科メディアでの実験の様子（3年）

教 師

- ☆ 「教える側」から「学ぶ側」の視点に立って考えられる教師
- ☆ 教科教室型システムを生かした学習指導方法の改善に取り組める教師
- ☆ 生徒の主体的学びを育てられる教師
- ☆ 生徒と教師の人間関係を基盤とした生徒指導のできる教師
「優しさの中の厳しさを，瑣事を大切に」

生 徒

- ◎ 確かな学力の向上
(見える学力，見えない学力ともに)
- ◎ 不登校の減少
- ◎ 素直な心で前向きに努力する生徒



課題別グループでの話し合い活動（国語：3年）



南中大運動会，心を一つに・背中渡り（2年）



昼休みのミニコンサート（ロビー：1年）

学校へ行きたい——毎朝，そう思える場所に。